

### 【注意点】

本資料は、令和6年3月9日（土）に開催される令和5年度簿記教育研究協議会内で説明内容の要点です。

当日には、さらに詳細な説明が予定されておりますので、本資料の内容については、研究協議会終了後に貴管下関係校、関係者（各都道府県内で授業を担当されております担当者）に、ご周知いただきますよう、お願いいたします。

## 令和5年度全国簿記教育研究協議会 議事に関する要点のまとめについて

### 3 級

#### ③ 帳簿記入の問題に関して

1. 「仕訳帳の記入方法の（ ）あり，（ ）なしについて」どちらの方法も検定済み教科書で採用されているため，どちらか一方に表記を統一することは難しい現状です。採択されている教科書の通りにご指導ください。
2. 帳簿への記帳方法に重点をおくのではなく，複式簿記の一連の流れを問うことで簿記の基礎基本を確認する出題として，略式での出題とし，混乱を招きやすい相手勘定の記入につきましては，省略しております。  
なお，補助簿への記入について問う出題は，2 級での出題を想定しております。
3. 検定試験という限られたなかで，複式簿記の一連の流れを問うため，取引を限定し金額も少額とするなど，一部整合性の取れない点もあるかと存じます。

簿記の基礎をしっかりと理解できるよう，教科書を中心とした指導の継続を今後もお願いいたします。

### 2 級

1. 「電子記録債権」「電子記録債務」「クレジット取引」について2 級での出題範囲とします。
2. 大問②の配点について問題により1 問の配点を変更し，1 問2 点または4 点とします。
3. 大問②本支店・大問⑥株式会社の問題は仕訳のみの出題ではなく，仕訳・計算問題・勘定記入などで出題します。
4. 大問④の帳簿組織の問題では証ひょうを表示した出題をします。
5. 大問⑤の決算の問題について消耗品と貯蔵品のどちらでも正解とするような工夫をして出題します。
6. 大問⑤の決算の問題について「電子記録債権」「電子記録債務」「クレジット取引」は出題しません。

## 1 級 会 計

1. 連結会計では今後の検定も「のれんの計上および償却」、「非支配株主に帰属する当期純利益の計上」、「子会社の配当金の修正」について計算させる問題を出題します。
2. 「電子記録債権」「電子記録債務」「クレジット取引」について1級会計決算で98回以降出題する可能性があります。
3. 98回検定以降より大問の配点の一部を変更する。2点から4点の配点が可能となるよう大問1を14点から12点へ、大問2を22点から24点へ変更します。
4. 97回で出題のなかった新学習指導要領に新たに追加された範囲について、今後出題していきます。

## 1 級 原 価 計 算

1. 製造原価報告書は、次の二つの形式で出題を想定しています。
  - ・原価要素別に分類した形式（材料費・労務費・経費に分類）
  - ・製品との関連で分類した形式（製造直接費・製造間接費に分類）
2. 等級別総合原価計算における等価係数は、いずれかの製品を「1」として出題します。